

1年間柳川をPRする左から小森さん、西村さん、白鳥さん



## 柳川の魅力を全力で発信 「水の精」3人が決定

今年度の観光柳川キャンペーンレディ「水の精」が決まりました。水の精を務めるのは小森愛実さん（19歳）、西村桜子さん（21歳）白鳥瑞樹さん（21歳）の3人。小森さんは「SNSを活用し、柳川の魅力を発信したい」、西村さんは「新しい柳川の魅力を皆さんにお届けしたい」、白鳥さんは「大好きな柳川をさらに好きになれるよう活動したい」と意気込みを語りました。3人は1年間、博多どんたく港まつりなどの各イベントで、柳川の魅力を国内外に発信していきます。

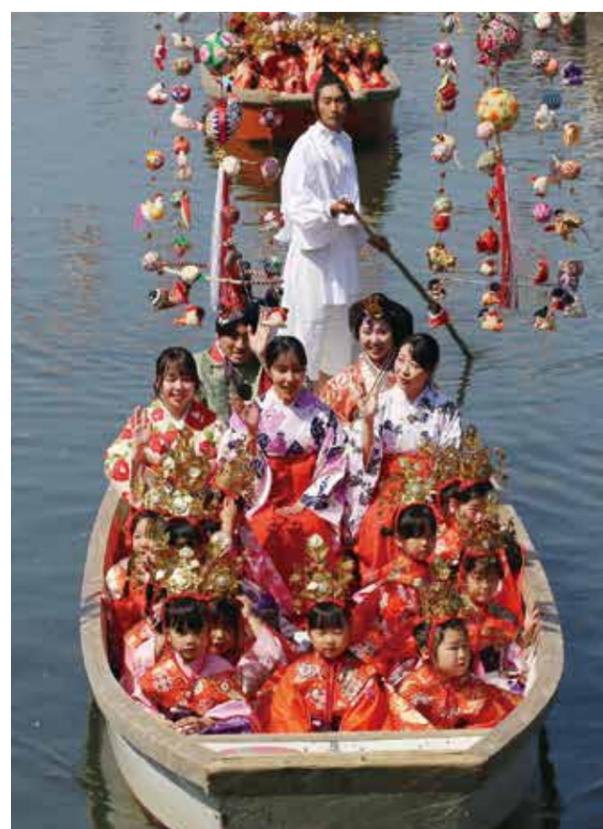
元気よくあいさつする新1年生



## 楽しみにしていた小学校 市内の小学校に新入生463人が入学

市内小学校の入学式が4月9日、各校で開催されました。今年度入学した新1年生は463人。4月に開校したやまと小学校では77人が入学しました。入学式では保護者や来賓、在校生らが温かく歓迎。6年生がイラストを使って小学校での生活を説明したり、勉強の仕方を教えたりしました。教室では先生の質問に元気よく返事をする新1年生たち。入学式の日を楽しみにしていたという中富大楓さんは「友達をたくさんつくりたい。勉強を頑張りたい」と話しました。

どんこ舟に乗る着飾った稚児たち



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。  
【問】市企画課広報係 ☎ 77・8425

## 華やかな稚児たちが春を彩る おひな様水上パレード

柳川雛祭り・さげもんめぐりのメインイベント「おひな様水上パレード」が3月20日に開催されました。晴天の中、おひな様やお内裏様、着飾った稚児たち約60人が、9艘のどんこ舟に乗り込み、沖端から三柱神社までの掘割をパレード。掘割沿いには、たくさんの写真愛好家や観光客らでにぎわいました。パレードをした稚児たちは、見物客から声を掛けられると、手を振りながら大きな声で応えていました。孫娘が乗舟した女性は「華やかな姿を見れてうれしい」と話しました。

受賞を報告する幸森さん（中央）



## 柳川の農産物の魅力を伝えたい 柳川産アスパラ茶が県議会議長賞受賞

3月24日、(株)HACOLiBの幸森彩香社長が金子市長へ「ふくおか6次化商品セレクション」の福岡県議会議長賞の受賞を報告しました。同セレクションは消費者からの評価や話題性の高い64商品が出品。柳川産アスパラガスを使ったお茶が最高賞の知事賞に次ぐ評価を受けました。市内の就労継続支援事業所で農家と連携し、お茶の開発や製造を行う幸森社長は「とても飲みやすいお茶です。柳川の安全安心な農産物の発信と障がいや難病を持つ方の雇用の維持や拡大に努めていきたい」と受賞を喜びました。

竣工式でテープカットする出席者



## 地域経済の浮揚の一助に 柳川市商工会新会館が竣工

3月29日、柳川市商工会の新会館の竣工式が行われ、商工会の会員など約80人が出席しました。同会は平成21年に三橋町と大和町の商工会が合併し設立。新会館の建設は大和町で54年ぶり、三橋町で48年ぶりとなります。新会館は木造1階建てで事務所や会議室などを備えています。中川貴臣会長は「人手不足や物価高騰など中小事業者を取り巻く環境は厳しい。多くの方の協力で新会館を建設できた。地域経済の浮揚の一助になれば」と話しました。

それぞれの願いをこめた短冊を流す子どもたち



## 願いを込めた短冊を掘割へ 第54回柳川流し雛祭りを開催

柳川雛祭り・さげもんめぐりを締めくくる「柳川流し雛祭り」が4月3日に市民文化会館前の掘割で実施されました。これはひな人形などで飾ったどんこ舟から願いごとを書いた短冊を流す催し。約220人の児童や保護者が14艘のどんこ舟に乗船し、短冊を流しながらパレードしました。子ども会代表謝辞で両親への感謝を述べた柳南中1年生の森田一心さんは「家族のみんなが健康に過ごせるように」と短冊に願いを込めました。

地元区長や宮司、氏子らでカビの色や生え方を確認



## 平年並みだが台風などに注意 鷹尾神社で数百年続く粥占い

鷹尾神社で3月14日、伝統神事の「粥占い」がありました。数百年前から続く伝統行事で、お粥に生えたカビで1年の作物の出来や災害を占います。旧暦の1月15日に粥を器に入れて木箱に密封し奉納。旧暦の2月15日に開封するのが習わしです。当日は、同神社の石橋守史宮司や地元区長など15人が参加。カビの色や生え方で今年の吉凶を占いました。占いの結果、良くないとされる黒カビや赤カビが少なく、平年並み。台風や漁業、麦作には注意が必要とのことでした。